

2018年度  
学校関係者評価委員会  
報告書



学校法人 大和学園  
京都製菓製パン技術専門学校

## I. 学校関係者評価委員会の目的

委員会は、本校が経営の現状と課題について適切に把握し、教育活動その他学校運営の改善を的確に行おうとしているかについて、自己評価の結果に基づき客観的に評価することを目的とする。(京都製菓製パン技術専門学校 学校関係者評価委員会規則 第2条)

## II. 2018年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1. 日時 2018年 8月23日(月) 9時25分～10時30分
2. 会場 大和学園太秦キャンパス 京都製菓製パン技術専門学校 4階会議室
3. 出席者 <学校運営や教育に関する有識者>  
委員長 影山 弘典 様 (学校法人大和学園 評議員  
京都栄養医療専門学校 校長)  
<企業等の役員または職員>  
委員 谷口 圭 様  
(神戸ベイシェラトン ホテル&タワーズ 調理部 製菓料理長)  
委員 中邨 勝俊 様  
(株式会社 小川珈琲クリエイツ 営業部 次長)  
委員 続木 創 様  
(株式会社 進々堂 代表取締役社長)  
委員 八木 勢一郎 様  
(御菓子司 京都鶴屋 鶴壽庵 代表取締役社長)  
<本校卒業生>  
委員 浦谷 准平 様 (京都製菓製パン技術専門学校 卒業生)  
<委員会事務局>  
事務局 鮫島 孝宏 (京都製菓製パン技術専門学校 校長)  
事務局 奥村 知史 (京都製菓製パン技術専門学校 教務部長)  
事務局 小山 美幸 (京都製菓製パン技術専門学校 教務部)
4. 議 事  
I. 自己評価結果について  
(1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果  
(5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受入募集 (8) 財務  
(9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流  
  
II. 自己評価結果の学校関係者による評価について  
(1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果  
(5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受入募集 (8) 財務  
(9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流

### Ⅲ. 評価委員からの評価および意見

評価項目	(1) 教育理念・目標 (2) 学校運営	
	評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する対応および改善方策
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念や目標について、必要な内容は網羅されており問題はない。学校運営も適切に行われている。</li> <li>・保護者への学校の教育方針周知は、どのように実施していくか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに則り、今後も明確な指針を持って教育を実践する。</li> <li>・定期試験終了後の、保護者宛成績通知送付の際に、教育方針を本校ホームページに掲載している旨を案内し、周知に努める。</li> </ul>
評価項目	(3) 教育活動	
	評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する対応および改善方策
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショップ&amp;カフェ実践の成果と今後、どのように展開していくか。</li> <li>・ショップ&amp;カフェ実践の価格設定や原価計算は学生が実施しているか</li> <li>・ショップ&amp;カフェ実践の価格を実際の店舗と同等レベルにしても来客数が減少しなければ、「顧客から選ばれている」という自覚が学生に生まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様で賑わっており、実際の事業所を想定した設えでの実習は学生の満足度も高い。今後は価格設定の見直しも図り、新施設を活用し内容を充実させる。</li> <li>・原価計算は授業を通じて実施しているが、価格設定は学校主体であるため、今後改善していきたい。</li> <li>・これまでの低価格路線を見直し、お客様のニーズを把握し、適正価格での運営を実施する。</li> </ul>

評価 項目	(4) 学修成果	
	評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する対応および改善方策
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 退学率減に向けて、学生同士の結びつきを強化することも必要。</li> <li>・ 卒業生がショップ&amp;カフェ実践の運営に協力すると双方の刺激になる。</li> <li>・ 卒業生の離職率は把握しているか</li> <li>・ 終身雇用が当たり前ではなくなってきたため、再就職支援体制があれば、事業所にとってもメリットが見込める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正副担任によるサポートのみならず、学生を巻き込んだ支援を展開していきたい。</li> <li>・ 授業及びイベントにおいて、卒業生とのコラボレーションを増加させたい。</li> <li>・ 現在は正式な数字は把握できていないため、就職部を中心に把握に努めたい。また、早期の離職を防止するよう、卒業生のフォロー体制も必要性を感じる。</li> <li>・ 再就職支援にも取り組んでいるが、さらに充実するように、OB・OGサイトや同窓会報を通じ周知する</li> </ul>
評価 項目	(5) 学生支援 (6) 教育環境	
	評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する対応および改善方策
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハラスメント対策はどのような体制であるのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員向けに研修を実施し、ハラスメント防止に対する意識を高めるとともに、学園内にハラスメント防止委員会も設置している。また、万が一の事案発生時にスムーズに対応できるよう、学生に相談体制を周知している。</li> <li>・ 太秦キャンパスへの移転に伴い、教育環境はこれまで以上に充実している</li> </ul>

評価 項目	(7) 学生の受入れ募集 (8) 財務		
	評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する対応および改善方策	
	・太秦キャンパスでの学生募集状況は安定しているか。	・募集状況は安定しているが、競争も激しいため、教職員全員が広報部員である自覚を持つ必要がある。  ・財務運営は健全で問題ない。	
評価 項目	(9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流		
	評価委員からの評価および意見	評価委員からの意見に対する対応および改善方策	
	・海外からの留学生の受け入れだけでなく、日本から海外へ留学する支援も図る必要がある。	・海外留学紹介の制度はあるが、希望者は皆無である。海外研修旅行は実施しているため、海外への関心が高まるよう、学生支援に努めたい。	